

出張報告書

令和1年 8月 13日

市議会議長 米田 貴志 様

会 派 名 公 明 党

代表者氏名 友永 修

下記のとおり報告します。

記

- 1 目 的 ①産後ケア事業について
②デマンドタクシー事業について
- 2 出 張 先 ①高岡市役所 ②福井市役所
- 3 出張期間 令和1年8月8日（木）～9日（金）
- 4 出張者氏名 松本妙子、南加代子、友永 修
岩崎雅秋、桑原佳一
- 5 てん末報告 別紙の通り

公明党（会派）行政視察レポート

報告者

南 加代子

視察先	高岡市	テーマ	産後ケアについて
日時	令和 元年 8月 8日 (木) 13時 00分～14時 30分		
市政の課題の解決に向けて、参考になると思われることと考察について			
<p>近年、核家族化の進行、地域での人間関係での希薄化により子育て環境は孤立しがちである。出産後において産婦のホルモンバランスは急激な変化により、心身共に不安定となっているが、幼子を抱えての子育ては待ったなしの状態である。母親が不安定な精神状態では現実の生活での子育てに対応できず児童虐待(ネグレクト)に陥るケースも見受けられることから、本市においても出産後の母子を守り安心して子育て出来る環境を整備すべきと考えられる。社会問題となっている児童虐待を防ぐ為にも早々の支援が必要であり、10人に1人がなりうる産後うつに関して心身のケアや育児サポートを行い産後ケアを強化すべきである。高岡市では産婦健康診査時、産後のメンタルヘルスチェックリスト(エンジンバラ産後うつ質問票)が健診項目として盛り込まれ1人の産婦に対し、産後2週間と産後1ヶ月の2回、受診機会を設け支援が必要とされる産婦を早期に把握し、産科医との連携を強化・産後ケアに繋いでいる。事業内容は助産院に委託しデイケア・訪問ケアとし利用者の自己負担金は利用料金の1割、生保・非課税世帯は負担金0となり、利用者からは育児の不安が相談でき良かった、身体をゆっくり休められた等利用者全員が「良かった」または「やや良かった」と回答されています。短時間でも子育てから離れ精神的にリフレッシュすることで、ホルモンバランスが整い安心して子育てが出来る精神状態に戻る課程迄の支援の必要性を感じる視察となりました。本市においても産後ケアは喫緊の課題であることからこのような事例にならない早期導入にむけて取り組んで頂きたいと考えます。</p>			

